

第7回  
アフリカ  
開発会議

TICAD7

公式サイドイベント

Symposium  
アフリカの  
地域の人が  
研究者が  
共創する  
未来型サニテーション



SDGsで掲げられる「すべての人にサニテーション」という目標に向け、ザンビア、ブルキナファソ、カメルーンの各地の事例より、アフリカの人がと共創した次世代のサニテーションのコンセプト構築と具体的な解決策を提案します。

日時 2019年

8月27日(火)  
13:00 ~ 14:30

場所 パシフィコ横浜 Annex  
F204

神奈川県横浜市西区  
みなとみらい1-1-1



PROGRAM

- 12:30 開場
- 13:00 ~ 13:10 山内太郎 (総合地球環境学研究所・北海道大学)  
「サニテーションの新たな価値創造に向けて」
- 13:10 ~ 13:25 林 耕次 (総合地球環境学研究所)  
「トイレが必要な条件とは? : カメルーンにおける  
森・農村・都市のサニテーションを事例に」
- 13:25 ~ 13:40 中尾世治 (総合地球環境学研究所)  
「トイレが普及するとどうなる? :  
ブルキナファソの現状から」
- 13:40 ~ 13:55 原田英典 (京都大学)  
「トイレに溜まるし尿をどう扱うか? :  
東・南部アフリカの事例と日本の経験」
- 13:55 ~ 14:10 片岡良美 (北海道大学)  
「子どもから地域へ: 映像で広がるサニテーション」
- 14:10 ~ 14:15 山内太郎: 議論のまとめ
- 14:15 ~ 14:30 総合討論  
(司会: 清水貴夫)

主催: 総合地球環境学研究所サニテーションプロジェクト  
共催: 総合地球環境学研究所  
問い合わせ先: 地球研サニテーションプロジェクト  
清水貴夫 shimizutakao@chikyu.ac.jp  
入場無料・申込不要

